

平成29年4月5日

浜田市議会議長 西田清久 様

議員名 道 下 文 男



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため、視察を実施したので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成29年2月6日(月) 午前7時から
平成29年2月8日(水) 午後5時まで

2. 視察内容
 - ① 佐賀城公園の整備と歴史館の状況(佐賀市)
 - ② 唐津漁港高度衛生管理型市場の整備と課題(唐津市)
 - ③ 福岡城址の整備状況(福岡市)

2. 視察先 佐賀県庁・佐賀城公園・佐賀城本丸歴史館
唐津市舞鶴公園・唐津漁港市場・福岡市大濠公園

3. 調査経費 一人当たり 22,408円
(経費内訳 レンタカー代金・ガソリン代・高速料金・宿泊費)

4. 調査研究活動の概要

別 紙



佐賀城公園の整備と歴史館の状況（佐賀市）

佐賀県佐賀土木事務所田崎茂樹所長

佐賀県佐賀土木事務所街路公園課野口欣也課長

佐賀県立佐賀城本丸歴史館企画学芸課藤井祐介学芸員

- 都市計画決定面積33.3ha 開園区域28.8ha
- 公園内に、県立図書館、県立博物館、県立美術館、市村記念体育館、佐賀城本丸歴史館、佐賀城鯨の門などがある
- 佐賀城1602年鍋島直茂・勝茂によって築城、平城、天守台4重
- 平成19年、20年かけて「佐賀城下再生百年構想」を策定
- 孫の世代まで（100年後）まで受け継がれるよう品格ある佐賀城下をめざす、自然区間と歴史、住宅地、公共施設との調和、歴史文化と文教機能を強化する
- 本丸北側をにぎわい拠点、街並み再生
- ハード整備一・二の丸広場、レトロ館、東濠の復元、ソフト一祭りとイベント
- さがレトロ館一民間によるカフェレストラン、濠一ホテルとハスの再生への取組
- 鍋島直正公の銅像再建（8m）一募金によって、平成29年3月4日除幕式
- 東濠復元工事一赤石護岸の復元、舟揚げ場の復元
- 昭和58年歴史資料館建設意向表明
- 平成10年佐賀市長→「本丸遺構と一体となった歴史資料館の建設」の要望
- 平成16年8月 「佐賀県立佐賀城本丸歴史館」会館
- 佐賀藩35万石、外様大名で8番目の規模
- 本丸歴史館は、十代藩主鍋島直正が1838年に再建した本丸御殿を忠実に復元した日本最大級の木造建築物

唐津漁港高度衛生管理型市場の整備と課題

佐賀県産業労働部流通通商課中西昭成係長

株式会社唐津魚市場常務取締役木下泉氏

一浜田市産業経済部漁港活性化室石田室長・戸津川係長・田中主事

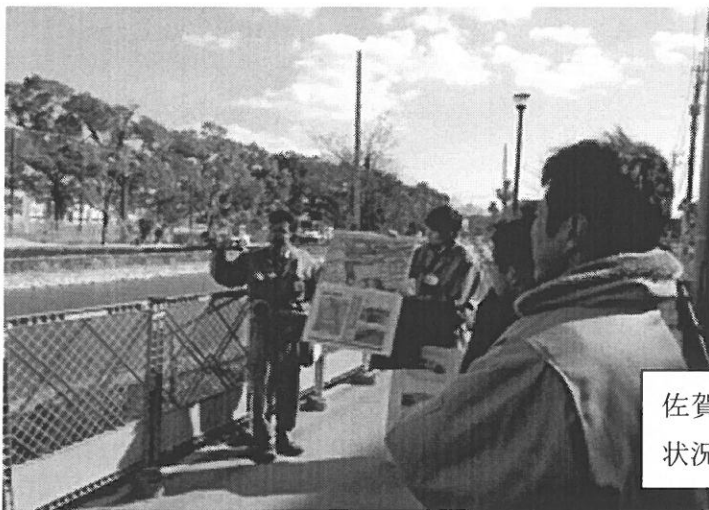
浜田市都市建設部建築住宅課佐古係長・平野技師の5人との合同視察

- 国土交通省平成20年→衛生管理型市場の整備一水産物の国際競争力の強化と力強い産地づくりの推進のため、水産物の流通拠点となる漁港で取り扱われる水産物のうち高度な衛生管理対策の下で出荷される水産物の割合を23%から50%に向上させる目標を表明
- 「唐津港まき網市場」改修整備の状況一ネットを使用した開放型で、床の清潔を保つ、床面の傾斜化とコーティング、セリ城内への車両進入防止構造、鳥糞による汚染の防止、衛生確保のための濾過殺菌海水供給施設の設置、施設洗浄のための十分な海水供給量の確保、営業しながらの工事のため3区画分けて改修、総事業費18億1千6百万円、事業主体一県
- （株）唐津魚市場の年間使用量1500万円、管理委託料年間400万円、水揚げ手数料4.5%、箱代120円、水揚高34億5千万円、水揚量2万3千6百トン
- 設計は実績のある会社に、事業期間平成26年～28年、LED使用
- 高度衛生管理型に改修することにより、安全安心のブランド化を図り、水揚げ量シェアを確保することを目的に改修、以前の唐津漁港汚かった
- 自動選別機3台だが、実質2台稼働、一台につき30人の人員必要、人材確保困難
- 夏場の体感一5度下がる

所感

佐賀城公園は、県庁、小中高等学校、図書館、体育館、博物館、美術館そして佐賀城歴史資料館があり、33.2ha という壮大なスケールでの整備がなされている。本丸歴史資料館の「鯨の門」は、国の重要文化財であり、「御座の間」は市の重要文化財とのことであり、浜田城山整備についても計画されている歴史資料館と城跡だけでは、いかにも観光名所あるいは学校教育の観点からも意義が乏しく、多額の事業費をかけることにはいささか疑問を呈するものである。

唐津港の高度衛生型巻き網市場については、8000 m²、本体延長 250mの荷捌き所に選別機 3 台、紫外線殺菌海水取水機 2 第及びシースルー壁を設けてあり、施設全体が極めてきれいであると感じた。市場は、既存の建物を利用しての大改修であったが、新設には 18.1 億円より多額の経費がかかるとのことであった。浜田市は、荷捌き所 2 か所を計画しており、53 億円というのは致し方ないのかと感じたところであり、いずれにしても昨今の事情により、整備推進をすべきであると考えた。この巻き網市場の木下常務によると、生産者は衛生管理面に配慮してくれるものの、市場関係者はわがままなのでなかなか衛生管理面が徹底しにくことが大きな課題とのことであった。



佐賀県の職員さんから佐賀城公園の整備状況の説明を受ける



佐賀城本丸歴史館の学芸員さんから全体模型を見ながら説明を受ける様子



唐津魚市場のコーティングされた床面を視察



唐津魚市場前での参加メンバーの集合写真



佐賀県議会議事堂1階での参加メンバーの集合写真